

【福山市少子化対策専門家会議】  
正保正恵

男女ともに  
働きやすさ・働きがいのある  
魅力的な職場づくり

# 1. 背景としての世界の中の日本の少子化 (専門外ですが・・・・)

---

- 例えば、エマニュエル・トッドやピーター・ゼイハンらによれば、世界は人口動態と地政学により予測できる。
- 例えば、インドは毎日**6**万人が生まれており、**12**年で**10**億人が増えた。インドの人口ボーナス期は**2011**年～**2040**年頃
- 今後人口増が見込まれるのは、コンゴ民主共和国、エジプト、エチオピア、インド、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、タンザニアなど。例えばナイジェリアの人口中位値は**18.1**歳、日本は**48.1**歳
- 2030年には**85**億人、2100年には**100**億人に。

## 2. 人口ボーナス→人口オーナス

---

- 人口ボーナスは、必然的に終わる。  
人口ボーナス→労働・消費→教育→高学歴→結婚年齢上昇→少子化→社会保障困難  
→GDP横ばい→人口オーナス（重荷）
- 人口ボーナスは一度終わると二度と起こらない。
- →人口オーナスになれば、静かに、普通に、力強く暮らす。

### 3. 日本の人口オーナスへの処方箋

---

- 2030年までに労働生産性を2.5倍にすれば人口オーナスに対抗できる？
- 例えば、働きやすい環境（週休3～4日、フレックス制、テレワーク）により、家庭に入った女性を呼び戻す、（子若法の対象となる元）若者、障がい者、高齢者などを労働者人口に組み入れていく。そしてもちろん、若年女性が魅力を感じる職場づくり。
- 同時に、男性中心にならざるを得なかった産業構造での、おもに男性をターゲットとした働き方改革。

## 4. 福山の課題

---

- 福山市ライフスタイル応援会議（2023－2024）によれば、**高卒女子、大卒女子の転出が目立ち、回帰率が低い。**
- おそらく、県北や近隣の市町からの転入があり、人口の激減は防げている。
- 福山市の産業構造を見ると、**中小企業が多いほか、業種でみると製造業が多い。**  
→男性の働き改革を行いながら  **女性の労働をどう創出し、支えるのか。**  
    ↓  
     **男性中心の職場における（女性への、同性への）ハラスメント対策**  
     **ワーク・ライフ・バランスにより労使のWin-Winをもたらすことのシェア**

## 5. アジェンダの確認

---

- ・ 今回の少子化対策専門家会議開催へのインパクトとなったのは、福山市の市区町村レベルでの転出超過？
- ・ それまでも、福山市ライフスタイル応援会議において女子の回帰率の課題
- ・ そこで→
- ・  若年女性に避けられることについてのとある仮説
  - 親になっていくことの教育（正保の専門）
  - ワーク・ライフ・パッケージ

## 6. とある仮説＝女性にとって福山は魅力が薄かったのではないか仮説：100年前より、中国地方屈指の夜の街だった！？

---

- 1980年代に「夜の街新御三家」と言われた。
- 半径 1 km 以内の地域に様々なサービスの店が犇めいていた。
- 福山市の「風俗営業」に関する取り締まりは、基本的に 広島県の条例と国の「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（風営法）」に基づく。
- 風営法（正式名称：風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律）は、1948年（昭和23年）7月10日に公布・施行。この法律は戦後の治安維持を目的に制定され、当初は「風俗営業取締法」という名称でした。その後、社会状況の変化に合わせて何度も改正され、現在の名称になったのは 1984年（昭和59年）改正時。

風営法と女性労働に関連があるかは不明だが・・

---

- 風営法による取り締まりなどで夜の街は衰退し、その後、女性労働も減少？
- 10代の親割合が比較的高い？

都道府県	総出生数	母の年齢が10代	出生割合(母親の年齢が10代／都道府県ごとの出生数)
全国	1,029,816	12,964	1.26%
北海道	38,190	522	1.37%
青森	9,126	142	1.56%
岩手	9,231	119	1.29%
宮城	18,949	209	1.10%
秋田	6,177	61	0.99%
山形	8,159	79	0.97%
福島	14,546	218	1.50%
栃木	15,588	206	1.32%
群馬	14,732	216	1.47%
埼玉	57,470	626	1.09%
千葉	48,343	561	1.16%
東京	109,986	761	0.69%
神奈川	74,320	729	0.98%
新潟	17,066	177	1.04%
富山	7,722	53	0.69%
福井	6,461	67	1.04%
山梨	6,198	85	1.37%
岐阜	16,000	181	1.13%
静岡	30,260	369	1.22%
愛知	66,825	827	1.24%
三重	14,514	237	1.63%
滋賀	13,015	154	1.18%
京都	20,106	208	1.03%
大阪	72,054	1,074	1.49%
兵庫	45,673	583	1.28%
奈良	10,190	122	1.20%
鳥取	4,759	55	1.16%
島根	5,534	62	1.12%
広島	24,713	423	1.71%
山口	10,705	190	1.77%
香川	8,059	121	1.50%
福岡	45,897	737	1.61%
佐賀	7,276	110	1.51%
長崎	11,566	151	1.31%
熊本	15,954	218	1.37%
鹿児島	14,637	206	1.41%
沖縄	17,209	437	2.54%

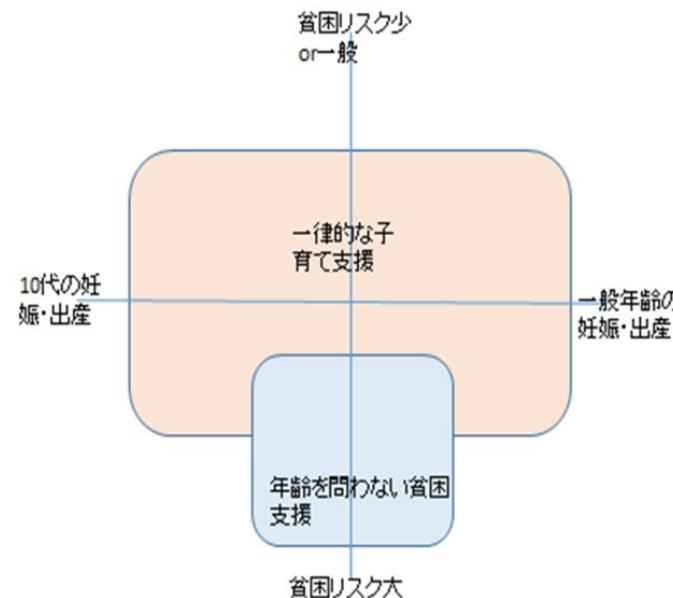
2013（平成25）年の都道府県別の  
10代の出生数と出生率

このとき、福山市のデータは  
2.0%を超えていた・・・

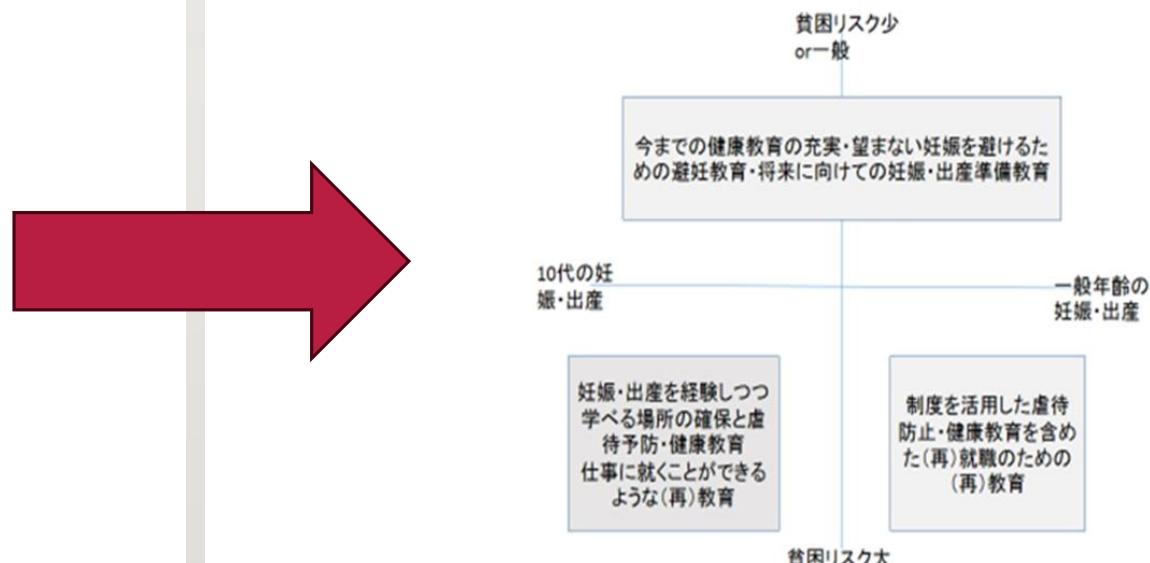
出典：各都道府県ホームページ及び保健統計年報よ  
り作成

## 7. 親になっていくことの教育（専門）

### “10代の親”を考える枠組みの現状



### 我が国の妊娠・出産を巡る教育のあり方



正保正恵「“10代の親”への教育と支援を問う—我が国専門職へのインタビューを踏まえて—」福山市立大学教育学部紀要 No.4 2018 pp.33-42

# Which induces more social disadvantage in Japanese mothers' parenting: Adverse childhood experiences (ACEs) or teenage pregnancy?

Satoko Okawa<sup>1)</sup>, Mika Makabe<sup>2)</sup>, Yukiko Kanaya<sup>3)</sup>, Yuko Yasuda<sup>4)</sup>, Chiaki Shirai<sup>5)</sup>, Masae Shouho<sup>6)</sup>, Kukiko Ogawa<sup>7)</sup>, Masae Ueno<sup>2)</sup>, Akemi Morita<sup>8)</sup>, Katsuyasu Kouda<sup>1)</sup>

1) Kansai Medical University, 2) Shitennoji University, 3) Mukogawa Women's University, 4) Ritsumeikan University, 5) Shizuoka University, 6) Fukuyama City University, 7) Tokyo Women's Medical University, 8) Toyo University

## INTRODUCTION

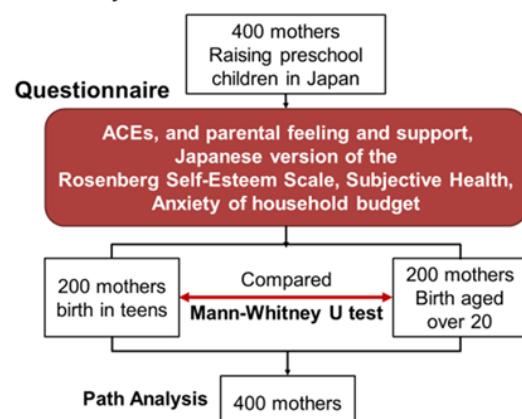
We explored the effects of adverse childhood experiences (ACEs) on educational background, age at first childbirth, self-esteem, parental feelings, subjective health, and economic status during child-rearing.

## METHOD

We used **ACEs**, **educational background**, **age of first birth**, the Japanese version of the Rosenberg **Self-Esteem Scale**, and parental feelings. We also evaluated **economic status**.

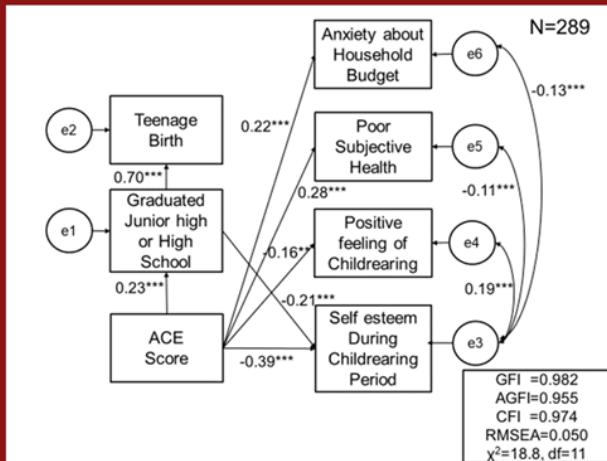
## DATA ANALYSIS

Approval for the study was obtained from the university's institutional review board.



## ACE has a greater impact on postpartum social disadvantage than teenage childbearing in Japan

Table 3. Effects of ACE on the Mental and Physical Health of Mothers Raising Children



For more information,  
okawas@hirakata.kmu.ac.jp

Poster template: <https://osf.io/ayjzg/>

## RESULTS

Table 1. Participant's description

		N=289
		N (%)
Age at First birth	under 20	141 ( 48.8 )
	20's	73 ( 25.2 )
	30's	75 ( 26.0 )
Average of first birth		24.1±6.9
Academic background	Junior high school	60 ( 20.8 )
	High school	107 ( 37.0 )
	University, Junior college etc.	122 ( 42.2 )
Subjective Health	Excellent	146 ( 50.5 )
	Good	112 ( 38.8 )
	Poor	30 ( 10.4 )
	Very Poor	1 ( 0.3 )
Household Anxiety	Comfortable, No anxiety	34 ( 11.8 )
	Not Comfortable, but no anxiety	95 ( 32.9 )
	Not Comfortable, anxiety	117 ( 40.5 )
	Not Comfortable, Extremely anxiety	43 ( 14.9 )

Table 2. Ace items Divided into 2 groups by Age of first Birth

Items	ALL N=289	Birth under 20 n=141	Over 20 n=148	p
Had a period of economic hardship	166( 57.4 )	98( 69.5 )	68( 45.9 )	0.000
I was never bullied or discriminated against outside the home	100( 34.6 )	42( 29.8 )	58( 39.2 )	0.060
My parents were never violent or abusive towards each other	93( 32.2 )	47( 33.3 )	46( 31.1 )	0.388
I was never told hurtful things or insulted by my parents	92( 31.8 )	52( 36.9 )	40( 27.0 )	0.047
I experienced natural disasters or accidents that caused me a lot of stress	80( 27.7 )	47( 33.3 )	33( 22.3 )	0.027
I was never subjected to violence or corporal punishment by my parents	77( 26.6 )	47( 33.3 )	30( 20.3 )	0.009
I have lived with my parents since I was born	57( 19.7 )	30( 21.3 )	27( 18.2 )	0.309
I was close to people who made me feel important	57( 19.7 )	33( 23.4 )	24( 16.2 )	0.083
None of my family members I lived with were psychiatric patients or alcohol or drug addicts	52( 18.0 )	28( 19.9 )	24( 16.2 )	0.257
I was never forced to engage in sexual acts that I did not want to	51( 17.6 )	29( 20.6 )	22( 14.9 )	0.132
I was given enough food and clothing	35( 12.1 )	21( 14.9 )	14( 9.5 )	0.108

t-test, Cronbach's  $\alpha=0.706$

	Mean±SD	Median	Min	Max
Total	2.97±2.38	2	0	10
Birth in Teens	3.36±2.74	3	0	9
Birth in 20 or older	2.61±2.33	2	0	10

Mann-Whitney U-test, \*\*\* p < 0.001, \*\* p < 0.01, \* p < 0.05

## DISCUSSION

ACEs may trigger **social disadvantage** among mothers in Japan. It is necessary to identify and support such mothers during and after pregnancy.

# ACEs (ADVERSE CHILDHOOD EXPERIENCES) 逆境的小児体験

- ・何十年も続く毒性を持ち、人間の脳と身体に害を与える。
- ・1998年、米国の医師フェリッティ

成人期に虚血性心疾患、癌、慢性肺疾患、肝疾患、その他の成人疾患に罹患する健康リスクの大きさは、小児期の「逆境的体験(adverse experience)」と高い相関性を持つという保健医学の論文を公にした。

- ・もともと身体医学には、患者の成育歴や生活歴を詳しく聴取する習慣がなく（せいぜい疾患の既往歴どまり）、成人患者の子ども時代に医師の目が向けられることはなかった。
- ・この発見は身体医学にとって盲点を突かれたような衝撃で、この衝撃からACEs研究が始まる

滝川一廣（2022）「逆境がもたらすもの 心的外傷・愛着障害・逆境体験」『そだちの科学』No.39, pp.2-9



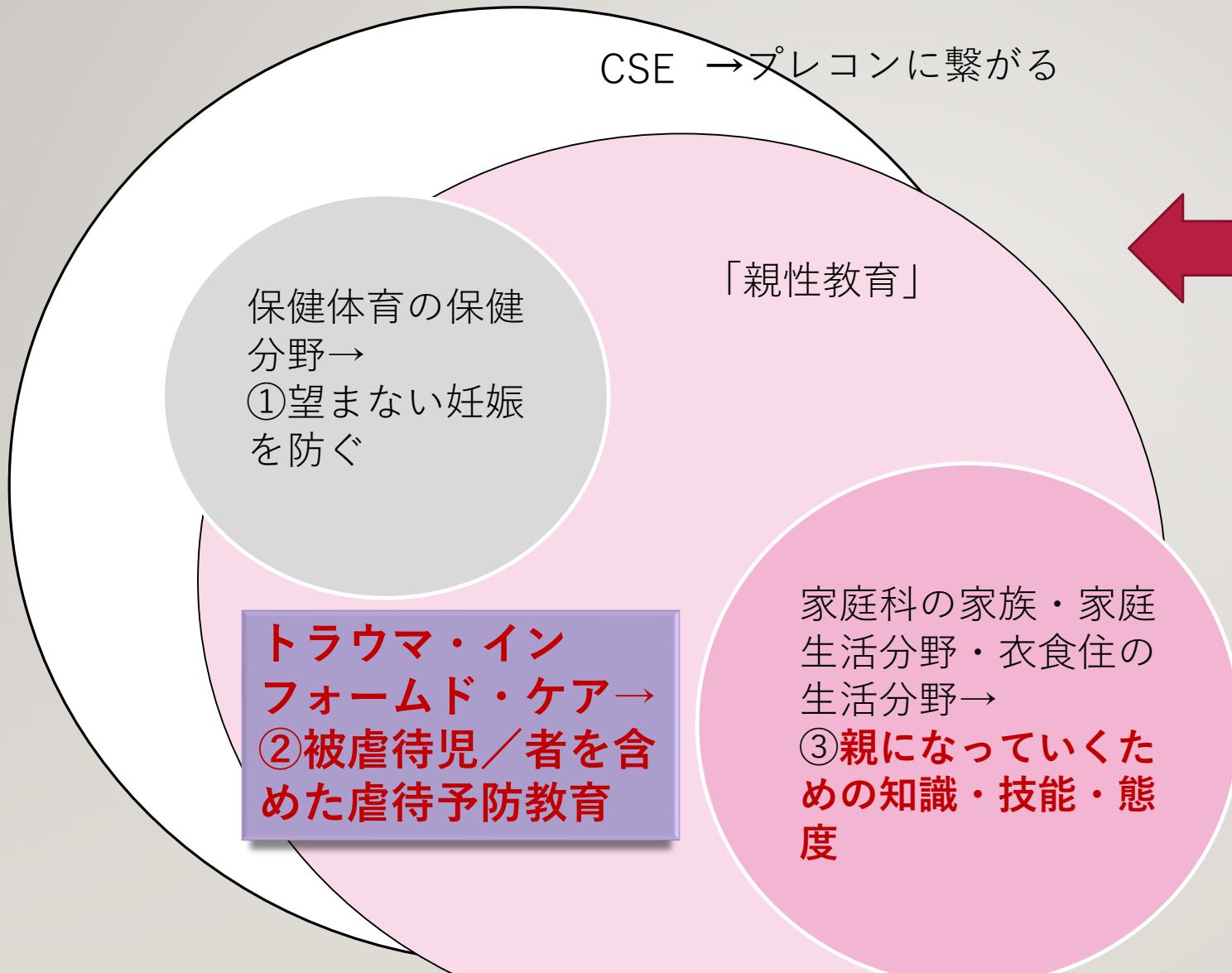
保護的・補償的体験 =  
PACEs(Protective and  
Compensatory  
Experiences) 概念  
—ACEsに対する解毒剤

・米国の研究者たちによれば、ACEsはPACEsと同時に語られなければ意味がないという。レジリエンスについて知られている発達科学や概念に関する議論すなわち親や子どもの環境に関わる他の要素がどのようにACEsの影響を和らげるのかについての議論が不足していたことより、レジリエンスを構築する要因に焦点を当てたACEsと比較可能な測定尺度を開発することとなった。

- ・彼らがPACEsとみなす関係性の要素には、
- ・(a) 親（または親の役割を果たしている祖父母などの他の主たる養育者）からの無条件の愛, (b)親友がいること, (c)コミュニティでのボランティア活動, (d)社会集団の一員であること, (e)家族以外の大人からのサポートを受けられること, がある。また、彼らがPACEsとみなす資源の要素には、(f)十分な食料のある清潔で安全な家で暮らすこと, (g)学ぶための資源と機会を持っていること（良い学校、他の教育体験）, (h)夢中になれる趣味（芸術的、創造的、または知的な探求）を持っていること, (i)団体スポーツの一員であるか、定期的に体を動かしていること（またはその両方）, (j)規則正しい日課と公正で一貫性のあるルールを持つ家族の一員であること、が含まれる。資源については単に貧困でないということを言っているわけではない点に留意が必要である（ジェニファー・ヘイズ＝グルド他, 2022）。

正保正恵 (2025) 「ACEs/PACEs概念とヴァリデーションを第一とした米国親子講座  
—Dr. Nancy L. Weaverに訊く—」福山市立大学教育学部研究紀要 13 38-48,

# 「親性」 = 親になることを学校でどう教えるのか



教科書を超えて虐待事例からのバックキャストによりトラウマ・インフォームド・ケアを学び、被虐待児／者への対応を習得する

トラウマ・インフォームド・ケアを共有し被虐待児／者をサポートする校内外を含む体制を作る

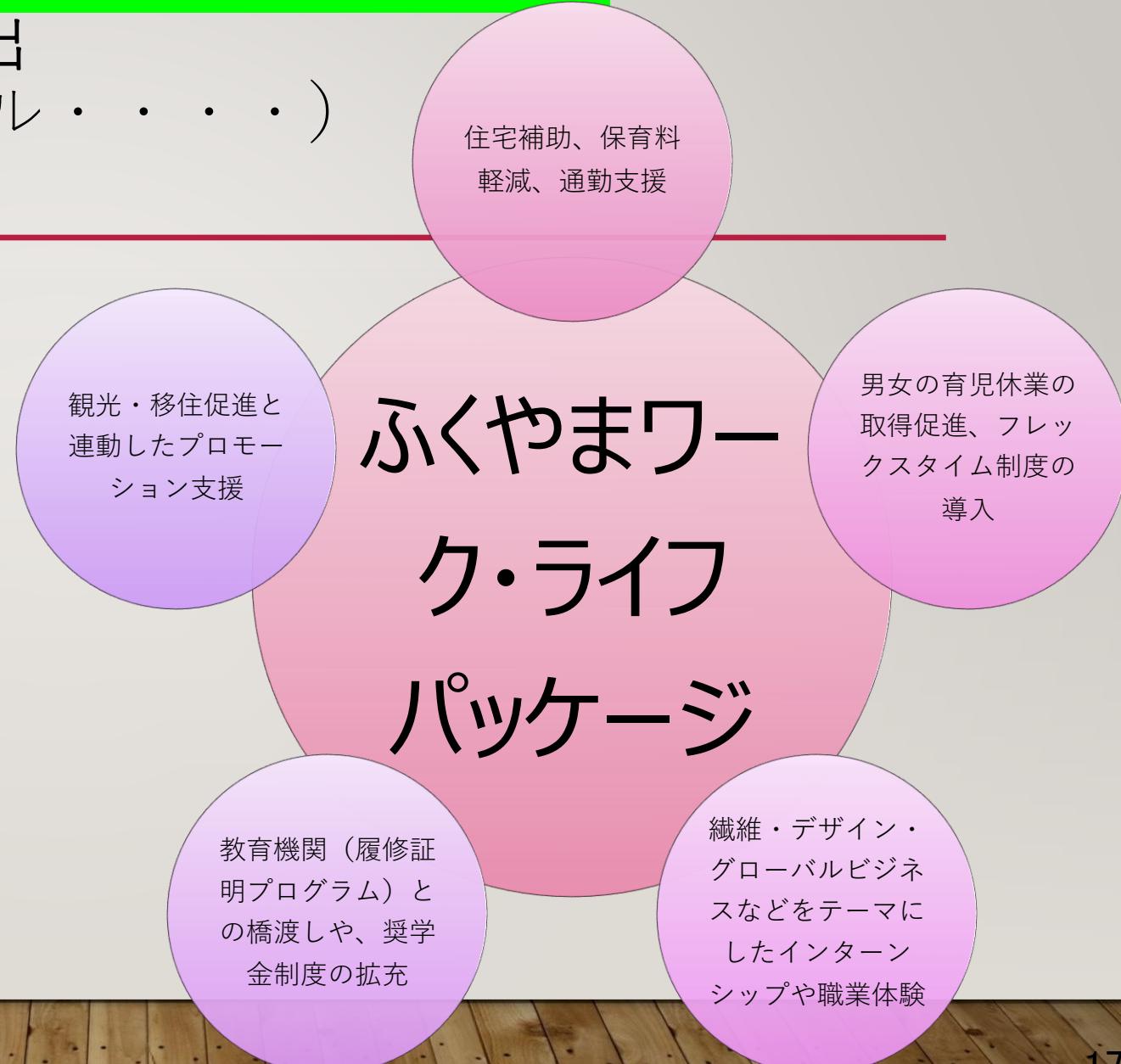
- 学校教育・社会教育などにおける「親になることの教育」は、男女に関わらず、親になるか否かに関わらず「普通の大人」になるために必要では？
- そしてこのことが社会の中で男女が家事育児を踏まえたライフスタイルを支えるのでは？

---

(正保の専門からの主張)

8.  ふくやまワーク・ライフ・パッケージの提案  
備後縄～デニム街道の創出  
(例えば、まずはこのモデル・・・・)

- 1. 若者・子育て世代の雇用創出と定住促進
- 2. 子育て支援と働き方改革のモデル企業化
- 3. 教育・キャリア支援プログラムの共同開発
- 4. 地域ブランドとライフスタイルの魅力発信





# FUKUYAMA

400年つづくものづくり

福山デニム

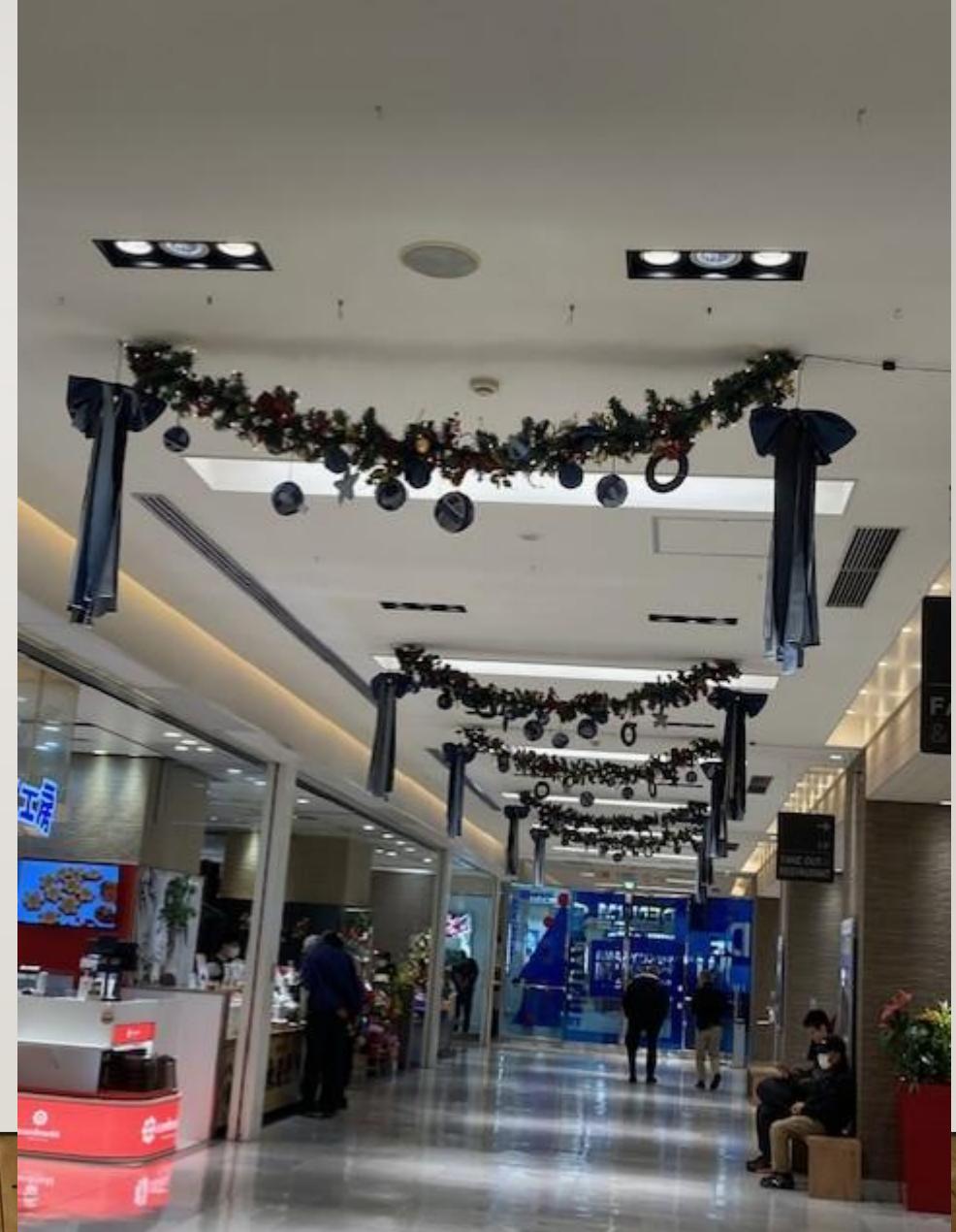
# HISTORY

江戸期、備後地方で生まれた備後紺（びんごかすり）は、手括りの紺糸を藍で染め、経緯を正確に合わせて織り上げる高度な技術で知られました。幾何学模様が浮かぶ素朴な木綿織物は、軽く丈夫で色落ちも美しく、庶民から武士階級まで幅広く愛用されます。この藍染め・綿織りのDNAこそが、のちの福山デニムへと受け継がれていきます。



デニム <https://www.jdscorp.co.jp/fukuyama-denim>

現在のふくやまサンステーションテラス



# ✓ワーク・ライフ・パッケージの何どこ（何をどこまで）

①行政内の連携の仕方を、セクション→集約型から、パッケージ→各セクション重点施策へ転換

②ふくやまワーク・ライフ・パッケージ  
(仮: FWLP=ふあるぷ) 創設  
委員会の設置 (産婆役)

③江戸時代からの備後絣の街道を  
再現、デニム、繊維関連産業の現状、  
備後絣を織る体験講座など、事実  
関係を洗いながらパッケージの物語化

④情報発信、相談、研究などを  
担う（仮）FALPセンターの設置  
(人・もの・金)

⑤施策の策定、タイムスケジュールとベンチマーク等の管理をす  
る機関 = (仮) FALP審議会